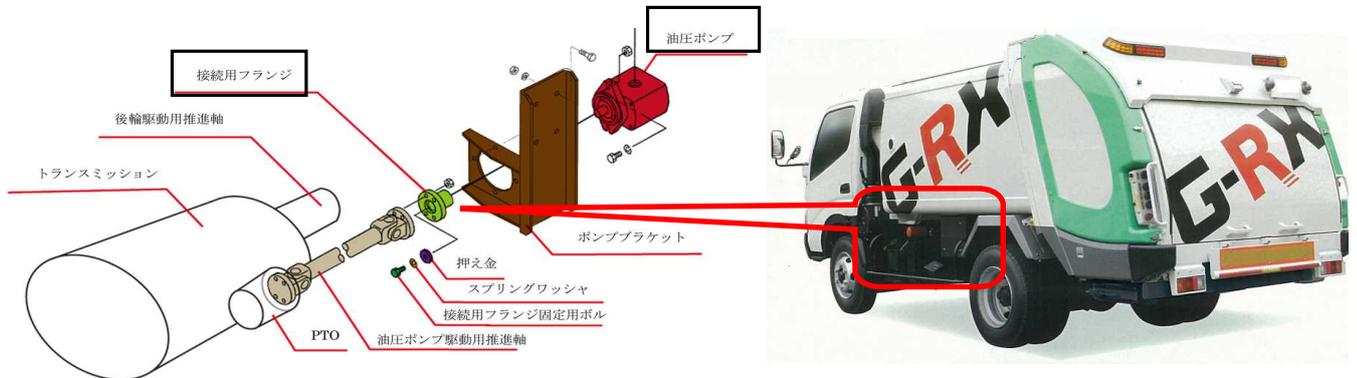


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

塵芥車の作業装置用油圧ポンプにおいて、油圧ポンプを駆動するための駆動軸のスプライン形状と接続フランジの形状が不適切なため、経年で駆動軸スプラインと接続用フランジのガタが大きくなることある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ガタにより接続用フランジを固定するボルトが緩み、最悪の場合、ボルトが外れてスプライン軸から接続用フランジが抜け、油圧ポンプ駆動用推進軸が脱落して他の交通を妨げるおそれがある。

改善内容

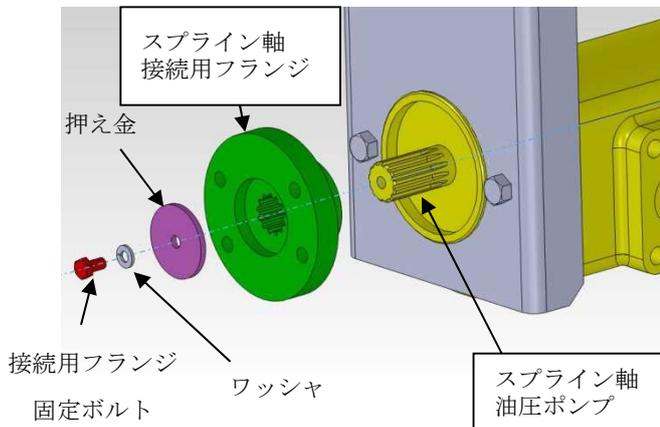
全車両、当該油圧ポンプと接続用フランジをキー軸構造のものと交換する。

識 別

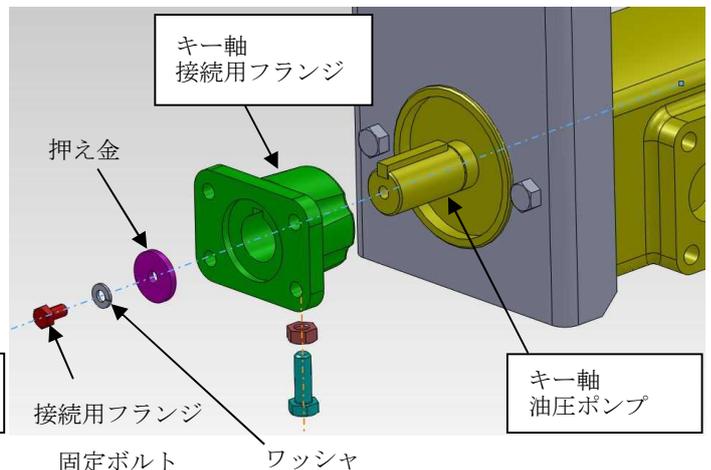
改善した油圧ポンプの取付ボルト、ナットの端面に白色でマーキングする。

改善実施済車両には、運転者席ドアロックストライカー付近に No. 3546 のステッカーを貼付する。

【改善前】



【改善後】



注: は、改修部位を示す。